

# 庁舎建設 ふちゅうかわら版 第2号

新庁舎で府中らしさを  
実現するためには？

8月24日、第2回府中市庁舎建設基本計画市民検討協議会が開かれました。

今回は「府中らしさ」を新庁舎で実現する為に、毎回テーマに沿って意見を積み上げていく第一歩となります。

今回も協議会の冒頭には、市民協働と市民活動のそれぞれの意味、府中駅前新たにできる市民活動拠点施設について説明がされた後、今後新庁舎で取り組むべき事や具体的な役割についてディスカッションしました。

議場に関しては、議席配置による分類や現庁舎の説明、他自治体の特徴的な取組みが紹介され、委員の方々に幅広いイメージを持って頂いた上でディスカッションが行われました。

3つのいずれのテーマも重要な内容で、時間ももっと欲しいという声も聞かれましたが、各グループにおいて時間を最大限使って議論がなされ、幅広い視点で意見が出ました。

—次第一—

平成25年8月24日（土）  
10:00~12:30

1. 前回のまとめ
2. 他自治体の事例紹介
3. 府中の個性が光る市庁舎を実現する為に
  - ・府中らしさとは
  - ・グループディスカッション
4. その他



## 歴史・伝統・文化を発展させるための庁舎におけるフリースペースの活用方法

新庁舎に、府中らしさを実現するためのスペースを設け、活用することが可能となった場合には、駅前再開発ビル内の市民活動の拠点との関わりを含め、こういった活用方法が考えられるかディスカッションが行われ、幅広い意見が出ました。

出された意見の内容をまとめると、「物販飲食・展示・その他」と大きく分類されたうえで全体に関わる事として「産官学の連携」が加わります。

**産官学の連携**

<b>物販飲食</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フリーマーケット</li> <li>・農作物直売所（JA・農工大・農業高）</li> <li>・府中産野菜を使ったレストラン</li> </ul>
<b>展示</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>歴史・自然                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・市にまつわる歴史展示</li> <li>・崖線や田などの特色伝達</li> </ul> </li> <li>祭り                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・くらやみ祭り・お囃子PR</li> </ul> </li> <li>スポーツ                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・フットサルチーム</li> <li>・競馬</li> <li>・企業ラグビーチーム</li> </ul> </li> </ul>
<b>その他</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害対応可能な場所</li> <li>・高齢者の休憩所</li> <li>・ボランティアセンター</li> <li>・ディスカッションの場（新しい産業・企業創生）</li> <li>・市民コンサート（東芝・NEC・農工大・市民グループ）</li> <li>・学生を呼び込む</li> <li>・市民行事の活性化</li> </ul>



## 市民活動における市民と行政との関係をより良くするための庁舎の役割

「庁舎の役割」というテーマに対して、地域の施設としてのあり方や市民の意見を聴き入れる体制、情報公開といったソフト面での対応を求める意見と、職員の執務環境向上や窓口集約など具体的に新庁舎で検討が求められる意見が出ました。

市民検討協議会で出たいくつかの意見に対しては、後日行われた職員検討会で具体的なアイデアをディスカッションし、今後の課題を共有しました。

**場の提供**

- ・自治会相互の関係の架け橋
- ・三多摩地域の拠点

**機会の提供**

- ・市長や市職員との交流の機会を増やす
- ・市民の声を広く聴き入れる体制
- ・行政情報を可能な限り公開する
- ・若者へ市役所のアピール
- ・観光PR

**災害時対応**

- ・災害時の情報発信拠点
- ・災害時に対応できるフレキシブルな庁舎

**その他**

- ・高齢者と子育て世代関連部署を低層階に配置
- ・手続きに関係する窓口を1階に集約
- ・適切な動線計画
- ・行政職員の執務環境の向上
- ・維持保全コストの検証



## 議場について

冒頭に議席の配置、傍聴席の位置、その他地域の特性に関する説明と、現状の議場の説明を行いました。議席の配置に関しては、議員席と執行部席が向かい合う対話型が良いとの意見が多く出ました。その他、多目的に使える議場や、議員の顔が見える議場など「市民に開かれた議場として欲しい」という意見が大半を占めていました。

また、現状の議場で改善が必要と考えられる点に関しても意見が出ました。

**使える議場**

**多目的な利用が可能な議場**

- ・市民協議会・審議会など様々な集まり
- ・小中高生の模擬議会
- ・結婚式
- ・コンサート

**議員や執行部の顔が見える議場**

- ・顔が見える傍聴席配置（全体が見える配置）
- ・外からも様子が見える議場
- ・カメラの設置によりテレビやネットでの配信

**既存の議場を踏まえた意見**

- ・議場の仕上げは質素に
- ・傍聴者出入口は二方向
- ・低層部は窓口重視とし、議場は上層階に設置



※各グループの意見など詳細は府中市ホームページをご参照下さい